

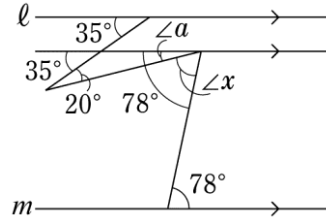
平成 30 年度 岡山学芸館高校 選抜 2 期入試【2月23日】 解答解説 (数学)

1

- 【正解】 ① 1 ② -12 ③ $5a+6b$ ④ $-3a$ ⑤ $8+2\sqrt{15}$ ⑥ $2(x-2)^2$ ⑦ $y=\frac{1}{4}x+3$
 ⑧ $\frac{2}{5}$ ⑨ $75\pi(\text{cm}^2)$ ⑩ 63°

【解説】

- ⑤ $(\sqrt{3}+\sqrt{5})^2 = (\sqrt{3})^2 + 2\times\sqrt{3}\times\sqrt{5} + (\sqrt{5})^2 = 3+2\sqrt{15}+5 = 8+2\sqrt{15}$
 ⑥ $2x^2-8x+8=2(x^2-4x+4)=2(x-2)^2$
 ⑦ $y=ax+b$ とおくと, $a=\frac{6-2}{12-(-4)}=\frac{1}{4}$ $y=\frac{1}{4}x+b$ に $x=-4, y=2$ を代入すると, $2=\frac{1}{4}\times(-4)+b, b=3$ よって,
 $y=\frac{1}{4}x+3$
 ⑧ 積が 10 以上となるのは, $(A, B) = (2, 5), (4, 3), (4, 4), (4, 5), (8, 2), (8, 3), (8, 4), (8, 5)$ の 8 通り。
 取り出し方の総数は, $4\times 5=20$ (通り)だから, 確率は, $\frac{8}{20}=\frac{2}{5}$
 ⑨ 求める立体は, 半径が 5cm の半球だから, 表面積は, $4\pi\times 5^2\times\frac{1}{2}+\pi\times 5^2=50\pi+25\pi=75\pi(\text{cm}^2)$
 ⑩ $\angle x$ の頂点を通り, 直線 ℓ, m に平行な直線をひく。平行線の同位角, 錯角は等しいから, 三角形の内角と外角の性質より, $\angle a=35^\circ-20^\circ=15^\circ$ よって, $\angle x+15^\circ=78^\circ$ より, $\angle x=63^\circ$



2

- 【正解】 ①(ア) 900 (イ) 8 (ウ) 5
 ② (容器 A の食塩水の重さ)600(g), (容器 B の食塩水の重さ)300(g)

【解説】

- ① (1)は食塩水の重さについて, (2)は食塩の重さについて方程式をつくる。(2)は, $\frac{8}{100}x+\frac{5}{100}y=900\times\frac{7}{100}$ の両辺を 100 倍して, $8x+5y=6300$ となる。
 ② (1), (2)より, $x=600, y=300$
 よって, 容器 A の食塩水の重さは 600g, 容器 B の食塩水の重さは 300g

3

- 【正解】 ① $(a=)12$ ② $(9, -2)$ ③ $\frac{125}{2}$ ④ $y=x+\frac{1}{4}$

【解説】

- ① 点 A の y 座標は, $y=\frac{1}{2}x+1$ に $x=4$ を代入して, $y=\frac{1}{2}\times 4+1=3$ よって, $A(4, 3)$ より, $a=xy=4\times 3=12$
 ② 2 点 A, B の y 座標は等しいから, $B(-6, 3)$ 2 点 B, C の x 座標は等しいから, $C(-6, -2)$
 2 点 C, D の y 座標は等しいから, 点 D の x 座標は $y=-\frac{18}{x}$ に $y=-2$ を代入して, $-2=-\frac{18}{x}, x=9$ よって, $D(9, -2)$

- ③ 四角形 ABCD は, AB を上底, CD を下底, BC を高さとする台形である。 $AB=4-(-6)=10, CD=9-(-6)=15,$
 $BC=3-(-2)=5$ だから, $\frac{1}{2}\times(10+15)\times 5=\frac{125}{2}$

- ④ 求める直線を $\ell: y=x+b$ とし, 直線 ℓ と線分 AB, CD との交点をそれぞれ P, Q とする。

2 点 P, Q の y 座標はそれぞれ 3, -2 だから, 直線 ℓ の式より, $P(3-b, 3), Q(-2-b, -2)$ と表される。

よって, $BP=(3-b)-(-6)=9-b, CQ=(-2-b)-(-6)=4-b$

台形 BCQP = $\frac{1}{2}$ 四角形 ABCD より, $\frac{1}{2}\times\{(9-b)+(4-b)\}\times 5 = \frac{1}{2}\times\frac{125}{2}, \frac{5}{2}(13-2b) = \frac{125}{4}, 13-2b = \frac{25}{2}, b = \frac{1}{4}$

したがって, 直線の式は, $y=x+\frac{1}{4}$

4

- 【正解】 ① $(-1, 3)$ ② 49(番目) ③ $4n^2+4n+1$ (番目)

【解説】

- ② $(1, -1)$ にある点は, $9=3^2$ (番目)の点, $(2, -2)$ にある点は, $25=5^2$ (番目)の点だから, $(3, -3)$ にある点は, $7^2=49$ (番目)の点である。
 ③ ②より, $(n, -n)$ にある点は, $(2n+1)^2=4n^2+4n+1$ (番目)の点である。

5

- 【正解】 ①(ア) (9) (イ) (8) (ウ) (2) (エ) (11) ②(オ) $\frac{9}{2}$ (カ) $\frac{15}{2}$
 ③(キ) $\frac{21}{10}$ (ク) $\frac{49}{50}$ ④(ケ) 351 (コ) 49

【解説】

- ②(オ) 弧 BC と弧 CD の長さは等しいから, $\angle CAB=\angle CBF, \angle ACB=\angle BCF$ (共通) よって, $\triangle ABC\sim\triangle BFC$ より,

$$CB:CF=AC:BC, 6:CF=8:6, 8CF=36, CF=\frac{9}{2}(\text{cm})$$

- (カ) $\triangle ABC\sim\triangle BFC$ より, $AB:BF=AC:BC, 10:BF=8:6, 8BF=60, BF=\frac{15}{2}(\text{cm})$

- ③(キ) $\triangle ABF\sim\triangle BCG$ より, $AF:BG=AB:BC, \left(8-\frac{9}{2}\right):BG=10:6, \frac{7}{2}:BG=10:6, 10BG=21, BG=\frac{21}{10}(\text{cm})$

- (ク) $GH\parallel FA$ より, $GH:FA=BG:BF, GH:\frac{7}{2}=\frac{21}{10}:\frac{15}{2}, \frac{15}{2}GH=\frac{147}{20}, GH=\frac{49}{50}(\text{cm})$

- ④ $\triangle CDF\sim\triangle CBG$ より, $\triangle CDF:\triangle GBE=\triangle CBG:\triangle GBE=CG:GE$

ここで, $GH\parallel CA$ より, $GE:CE=GH:CA=\frac{49}{50}:8=49:400$ なので, $CG:GE=(400-49):49=351:49$

よって, $\triangle CDF:\triangle GBE=351:49$